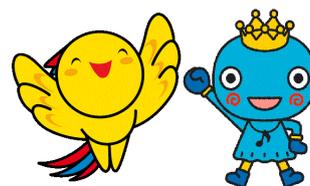


西宮総合医療センター（仮称）及び関連施設の基本設計概要

「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」に基づき、これまでの診療機能を維持・充実するとともに、地域医療に関わる人材育成の拠点病院としての役割を果たし、西宮市域及び阪神圏域において安定的・継続的に医療を提供するため、兵庫県と西宮市が連携して、両病院の統合再編による新病院を整備します。



1 新病院の基本方針

- ・高度急性期・急性期医療の提供
- ・救命救急センターとしての役割
- ・先進医療への対応
- ・感染症対応機能の充実・強化
- ・AI・ICTの活用
- ・医療従事者の育成拠点
- ・災害に強い病院
- ・安定した経営基盤の確立



※新病院完成予想図（国道2号線からのイメージ）

2 新病院の規模

- (1) 診療科目 35 診療科
- (2) 病床数 552 床（一般病床 544 床、精神病床 8 床）

3 施設計画

- (1) 建設場所 西宮市津門大塚町
（敷地面積 26,000 m²）

- (2) 構造規模等（予定）

- ① 病院棟

- ・鉄骨造（免震構造）
- ・地上 11 階、塔屋 1 階
- ・延床面積 54,555 m²
- ・高さ 53.5m

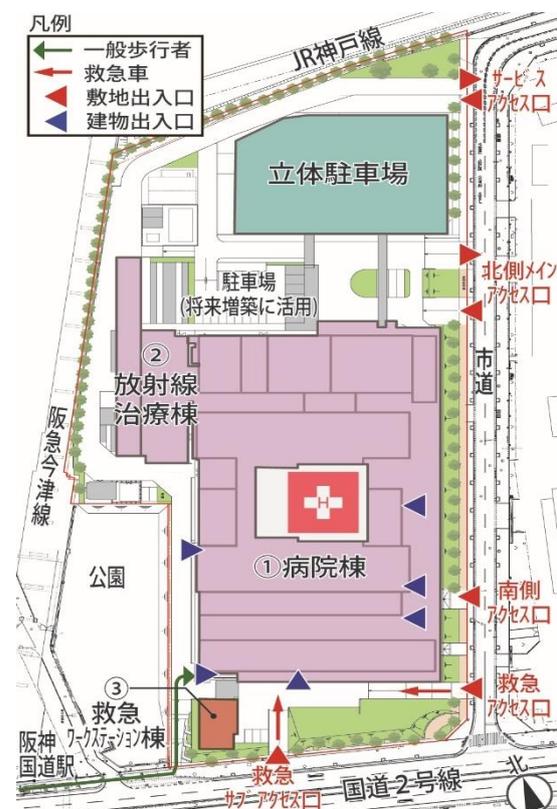
- ② 放射線治療棟

- ・鉄筋コンクリート造（耐震構造）
- ・地上 3 階
- ・延床面積 1,228 m²
- ・高さ 14.7m

- ③ 救急ワークステーション棟

- ・鉄骨造（耐震構造）
- ・地上 2 階
- ・延床面積 382 m²
- ・高さ 9.6m

※ 立体駐車場棟は、公募により選定された民間事業者が自らの資金で整備（基本設計中）



4 概算事業費

386 億円※（建設工事費 247 億円、医療機器整備費 70 億円、用地費 55 億円、設計監理費 14 億円）

※別途、建設資材等の価格上昇、宮水保全対策、感染症対応機能の充実、地中障害物対策工事等の追加対策経費が必要。

5 設計上の主な特徴

(1) 医療ニーズへの対応

- ① 高度急性期医療エリアの強化に向け、救急部門、手術部門、ICU、ヘリポートを、エレベーターにより迅速連携できるよう配置
- ② 医療環境の変化に対応するため、増築スペースを各所に確保するとともに、将来の柔軟な改修を可能とする建築設計を採用

(2) 感染症対応機能の充実

- ① 平常時は一般患者に対応しつつ、感染症流行時は感染症患者の受入れが可能となるよう、専用の入口・エレベーターや陰圧設備を配した専用診療室・病室等を整備
- ② 感染拡大のフェーズに応じた病床拡大を可能とするゾーニングと空調設備計画（休止病床の抑制による感染対応と通常医療の併存を可能とする計画）

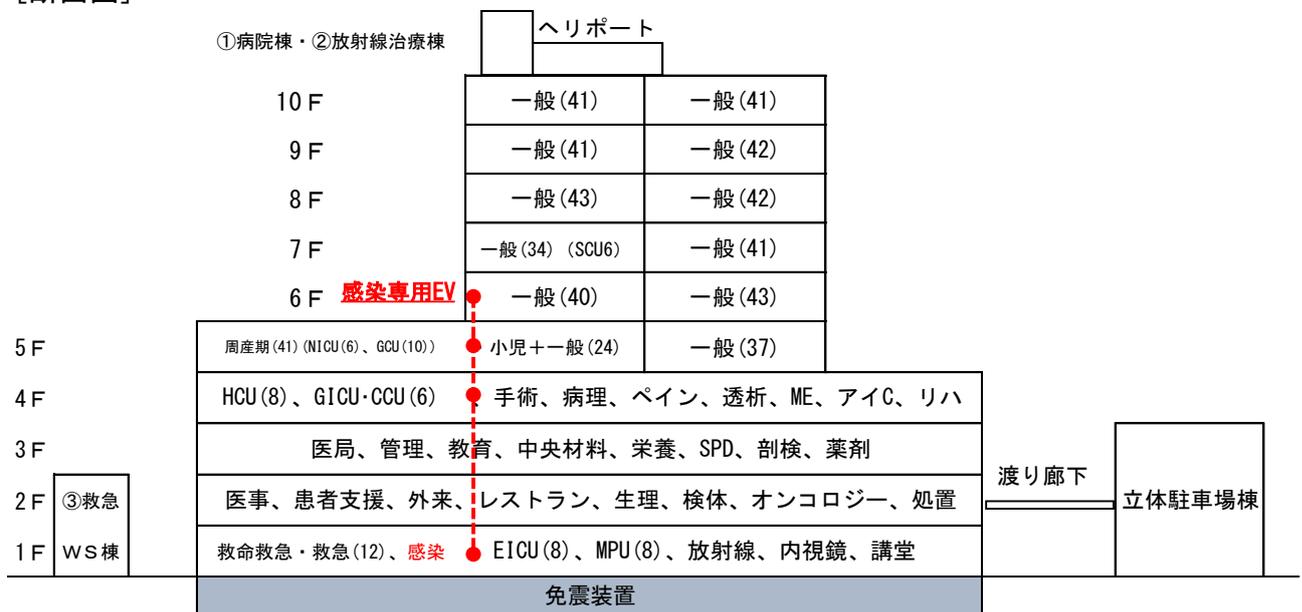
(3) 地域における医療従事者の育成拠点づくり

- ① スタッフのための学びの場（カンファレンススペース）を各階に配置
- ② 多職種が利用できる広いスタッフステーションを実現

(4) 災害への対応

- ① 免震構造の採用（地震対策）、敷地嵩上げ・重要施設の上階設置（浸水対策）等により災害時においても医療機能を維持
- ② 地震や大事故といった広域災害が発生した際に、様々な傷病者の受け入れを可能とするトリアージや処置等のエリア設定や、非常用電源、医療ガス等の設備配備

[断面図]



6 整備スケジュール

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
建物整備		基本設計	実施設計	入札公告	建設工事		
医療機器整備	医療機器選定、情報システム設計、発注					開院準備	開院